滋賀県交通安全スローガンを募集します

交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない、安全で住みよい湖国滋賀を築くため、平成21年度の交通安全キャンペーン等に広く使用する「交通安全スローガン」を募集します。

●募集期間
9月21日（日）から
10月31日（金）まで

●応募資格
滋賀県内に在住もしくは勤務・通学されている方
（作品は自作・未発表のものに限ります）

●募集のテーマ
県民みんなで交通安全をすすめる雰囲気があふれる、滋賀県らしい特徴のあるもの。

●応募方法
スローガン、住所、氏名、年齢、電話番号、職業（学生の場合は学校名・学年）を記入の上、ハガキにて住民課生活環境交通担当、または、滋賀県交通政策課（交通対策協議会）まで応募してください。
※ハガキ1枚につき作品を1点記入してください。

●作品の審査等
作品の審査は、滋賀県交通対策協議会において行われます。入賞者には、薄謝が贈呈されます。

●問い合わせ先
◆住民課　生活環境交通担当
〒529－1698
日野町河原一丁目1番地
☎ ⑫6578
有線⑤7784
◆滋賀県交通政策課
（交通対策協議会）
〒520－8577
大津市京町四丁目1－1
☎077－528－3682

平成20年度　最優秀作
ゆずりあう
マナーが滋賀の
通行証

綿向雑感

日野町長　藤澤直広

田圃（たんぼ）に稲穂が稔り、風に揺れています。小麦粉が値上がりしたためか、米の消費が少し増えたようです。食糧自給率の向上は大切な課題です。米価が低迷する中で農家が素直に稔りの秋を喜べ、そして、誇りをもって汗を流せる農業政策が求められていると思います。

ところで、これから半年の間に、野洲市・甲賀市（10月）、湖南市（11月）、高島市（1月）、東近江市・米原市（2月）の6つの市の市長選挙が行われます。「平成の大合併」が進められた平成16年度にこれらの新市が誕生し、それから4年間が経過したからです。

先日、この6つの市のある市長さんとある議員さんとお話しする機会がありました。いずれの方も「合併したから良くなったということはないからなあ」「日野町は合併しないで頑張ってるなあ」と話されました。この言葉は「平成の大合併」の本質をついているのではないかと思います。それは「平成の大合併」が住民の暮らしを良くするために行われたものではなかったということです。しかし、合併がバラ色でなかったことが明らかになったにもかかわらず「やがては合併しなければ・・・」と言う人もおられます。それは、国も地方自治体も未曾有の財政危機に陥っていることに対する不安があるからだと思います。

「財政再建」が必要であることは間違いありません。しかし、どのように「再建」するのかが大切です。小泉内閣の時代のように痛みを伴う構造改革によるのではなく、地方や弱者を大切にし、国民の暮らしに光を当てたものでなければなりません。政府が閣議決定した「骨太の方針2008」には「都市と地方の格差の拡大や非正規雇用の増大などの問題も生じている。さらに、原油価格や食料価格の高騰により、国民の生活への不安が広がっている」と分析し「生活者・消費者が主役の政府をつくること」が課題とされています。真にそうした政府をつくらなければならないと思います。